

医療法人 清梁会
高梁中央病院

〒716-0033
岡山県高梁市南町53
TEL (0866) 22-3636 FAX (0866) 22-0536
http://seiryokai.jp/takahashi



新年のご挨拶

高梁中央病院 病院長 戸田 桂介



明けましておめでとうございます。旧年中は医療法人清梁会を多岐にわたりご支援いただき、誠にありがとうございました。昨年は秋以降、繰り返し新型コロナウイルス感染症のクラスターが発生しました。患者様に多数の感染者を出し、また入院を要する方の受け入れに支障をきたし周辺施設に多大な迷惑をおかけしたことをお詫び申し上げます。第七波以降、高梁市内でも多数の感染者が発生し職員にも家庭内感染、職場感染で多数の休職者が発生しました。クラスター発生以前には新型コロナウイルス感染症への対応と通常業務の両立という課題に即応できず、スムーズな受け入れができない場面がありました。クラスター以降は全員で乗り切ろうという雰囲気醸成され、受け入れ病床の増床、発熱外来の運営強化、ワクチン接種の拡大と地域の医療を維持するために積極的な姿勢で取り組むことができるようになったと思います。

昨年は理事長、院長を拝命し、個人的にも大きな変化の年となりました。私がまず意識したのは病院理念の再確認です。

- 一 安心し、納得していただける医療を提供します
- 二 心の通い合う信頼関係を築いていきます
- 三 地域の中核病院として、地域医療に貢献します

これが地域への宣言であり、われわれ自身の行動の指針となります。毎回状況が異なる医療現場において適切な判断を下すためには、目の前の状況だけに囚われず一段高い視点から広い視野を持つことを忘れてはいけません。その視点こそが病院理念を意識することだと考えます。地域の中核病院として皆様の期待に応えられるよう、職員一同努めて参る所存です。本年もどうぞよろしくお願致します。

◆システム障害訓練を実施

昨今の病院は多くのシステムを導入しています。そのため、災害による停電やサイバー攻撃などにより、システム障害が発生してしまうと診療において多大な影響が出ます。当院ではそのような状況が発生しても、できる限り診療を継続するためにシステム障害訓練が必要と考え今回は外来を中心に電子カルテが使用出来なくなった想定で、時間ほど訓練を行いました。

訓練は当院職員が患者役になり、電子カルテが使用出来ないなかでどうやって患者情報を得るか、レントゲンや検査などの指示を行うか、今回の診療内容をどのように記録するかなどを実践しました。



今後ますますシステム化が進んでいくなかで、患者さんの命を守る病院はどのような時でもできる限り正常な診療機能を保たなければなりません。今回は外来が中心となる訓練でしたが、今後は病棟なども含めて定期的な訓練を行っていきたいと考えています。

看護職員 一問一答

Q. 仕事のどんなところにやりがいを感じますか？

病棟看護師 木曾田 遥香さん
A. 入院していた患者さんの治療が終わり、笑顔で退院される時にやりがいを感じます。

Q. 仕事とプライベートのバランスはどうですか？

病棟看護師 竹本 圭佑さん
A. 両立出来ていると思います。コロナ前は仕事終わりに同期と食事に行ったり、休日も友達と遊んでリフレッシュしています。

Q. 後輩を指導するうえで、心掛けていることはありますか？

病棟看護師 信下 啓子さん
A. 一人ひとりのペースに合わせた指導方法を考えながら、自分自身も一緒に勉強をして共に成長できるように心掛けています。

Q. 目標・あなたの看護師像を教えてください。

外来看護師 眞壁 愛美さん
A. 「患者さんのその人らしさを尊重できる看護師」を目標としています。患者さんの生きてきた人生や、思想・希望を知り、病気が治療がきっかけとなり尊厳を傷つけることがないように、傾聴し、受容し、共に考え治療していくことの出来る看護師になりたいと思います。

看護部長 就任のご挨拶

看護部長 森 美智代



令和5年1月より、看護部長に就任いたしました森美智代と申します。

前任の看護部長が作り上げたものを礎として、皆様のお力を借り、より一層安心していただける質の高い看護の提供を目指していきたいと思います。

令和元年から新型コロナウイルス感染症の流行、現在も続く感染拡大の影響に伴い、医療や看護・介護を取り巻く環境は大きく変わり日々不安や閉塞感を感じていると思います。

当院も地域の皆さまの医療と生活を支えるため、院内感染対策の強化を図るとともに、面会制限も続いており患者さまや家族の皆さまにはご不便をおかけしていますが、これからも寄り添い信頼できる看護が提供できるように取り組んでいきます。

昨年当院では、新型コロナウイルス感染症によるクラスターが発生しました。大変な状況ではありましたが、このような経験をしたからこそ、看護師のチーム力や結束力が強まり、多職種との協力・連携体制がさらに強固なものとなったと思います。今後もどのような困難な局面を迎えたとしても、経験を原動力にその時必要なニーズを敏感に感じる事ができる感性と、医療現場でやるべき事を即実行できる機動力を備えた看護部を創っていきたいと考えています。

婦人科からのお知らせ

「婦人科」ってどんなところ？



婦人科と聞くと、「妊娠したらお世話になるところだから、それ以外は関わることはない」と考える人が多いのではないのでしょうか。

実は、日頃の月経や更年期障害など女性特有の症状で困ったときに相談できる場所なのです。お悩みなことがあれば是非当院の「婦人科」へお気軽にご相談ください。

婦人科検診のメリット

早期発見できる！

早期発見できれば、90%以上の確率で治療するといわれています。

がん以外の病気も見つけることができる！

子宮筋腫や子宮内膜症などの女性特有の病気も早期治療につなげることができます。

安心して生活できる！

検診を受けて「異常なし」と診断されれば、安心して毎日を過ごすことができます。

些細なことでも、どうぞお気軽にご相談ください